

梅毒抗体検査の結果について

結 果		内 容
陽性	RPR+, TP-	感染初期あるいはRPR法が偽陽性の可能性があります。
	RPR+, TP+	現在感染している可能性あるいは過去の感染の可能性があります。
	RPR-, TP+	過去の感染あるいは感染初期の可能性があります。
陰性	RPR-, TP-	感染していないと考えられます。

※ 陽性の場合には、医療機関でより精密な検査を受けることをお勧めします。
陰性であっても症状がある場合には医療機関を受診するようにしてください。

【検査について】

今回の検査は、梅毒の病原体（梅毒トレポネーマ）そのものの検査ではなく、感染した際に血液中に作られる「抗体」の有無を確認する検査です。

正しい結果を得るには感染機会から2～3か月以降の検査が推奨されています。

豊橋市保健所では、病原体に非特異的ではあるが病原体が体内で活動していると産生される抗体を検出する検査（RPR法）と、病原体に対し特異的に産生される抗体を検出する方法（TP抗原法）の2種類を行っています。

◆梅毒抗体検査の特徴

RPR法：感染後1か月程度で陽性となり、治療後は時間経過とともに陰性へと向かっていきます。梅毒以外の感染症や、妊娠などで偽陽性となることがあります。
TP抗原法：感染後に陽性となるのは一般的にRPR法より遅く、治療後も陽性が続きます。稀にRPR法より早く陽性になることがあります。

【梅毒に感染しない・感染させないために知っておくべきこと】

- コンドームの使用によりリスクを低減することができますが、コンドームが覆わない部分の皮膚等から感染することがあるため、完全に防ぐことはできません。
- 不特定多数と性行為をしないこともリスクを下げます。
- オーラルセックスやアナルセックスでも感染します。
- 無症状の感染者からも感染が拡がります。
- 症状がなくても、感染リスクがあったときは検査を受けましょう。
- 陽性の場合や気になる症状がある場合、パートナーにも検査を勧めましょう。
- 治療後も、何度でも感染します。

連絡先：豊橋市保健所保健医療企画課 TEL：0532-39-9104